

神奈川県古文書資料所在目録

第 19 集

神奈川県立公文書館

序

神奈川県立公文書館は平成5年11月に開館し、以後資料の調査・収集、保存、県民への提供などの事業の実施をいたしました。本目録は、古文書調査事業の結果をまとめたものです。古文書調査は、都市化のなかで散逸しつつある貴重な先人の遺産である文書を発掘・調査し、保存のための対処を行い、資料目録を作成する事業です。さらに、これら資料を撮影し、長期的な保存と利用に供するのも目的の一つです。

本目録は平成7・8年度に実施した調査のうち、藤野町牧野に所存する井上勝夫氏所蔵文書を収録しました。公文書館としては、資料所在目録としては第3冊目の刊行となります。

この調査に際しましては、資料所蔵者をはじめ、藤野町役場、教育委員会の方々に多大のご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げますと共に今後のご協力とご指導をお願い申し上げます。

なお、本事業は県史編集室、県立文化資料館で実施して参りました調査・収集事業を引き継いでおり、それらの調査目録と併用してご利用いただければと存じます。

平成9年3月1日

神奈川県立公文書館

館長 後 藤 仁

凡 例

1. 本冊には、平成7・8年度に所在調査を実施した地域のうち、藤野町牧野の井上勝夫氏所蔵文書を収録した。当家は、平成6年度から古文書の調査を実施しているが、同年度内に目録を作成した分は『神奈川県古文書資料所在目録 第17集』に収録した。今回は、その後整理し目録を作成した分と神奈川県史編集室が昭和53年に調査し目録を刊行した分とを併せて編集し、まとめた。したがって、当家の文書は第17集と本冊を併せて利用ください。(後述、解説)
2. 史料の分類方法は、史料全体を冊子型と書状型との形態に分け、その中を項目を立てて年代順にならべた。史料が少ない場合は、形態の中にまとめ編年とした。
3. 史料名の記載の無い文書や年代不明の文書には、その欄に史料内容から標題及び年代を推定し()でくくって表示した。
4. 本調査の実施に当たり、当主井上勝夫氏をはじめ御家族は何日にも渡る調査、マイクロ撮影その他について至大の御高配をくださった。厚く感謝申し上げます。
5. 調査員
樋口雄一、小松郁夫、市川緑子、杉原誠一、岡田弘道、武藤清志、藤井一夫、坂本三夫、飯島端治、鈴木巍也、平塚一実、保田晴男、田島光男 武川喜正

目 次

序 文

凡 例

史料分類項目

〔冊の部〕

冊	1
土地	3
山論	4
酒造	6
大冊	7
絵図	7

〔状の部〕

状全般	7
状追加	12
大川原切図・全図・地引絵図等	24
酒造	25
証文	27
年貢請取	32
年貢金請取	40

〔状の部〕

明治期租税等請取	44
金子借用証文	47
伏馬田・荒井 松本倉勘定	48
佐藤氏関係	49
青山 梅沢氏関係	49
烏屋 天野氏関係	51
烏屋 菱山氏関係	51
上長竹 落合氏関係	55
長竹 奈良屋関係	55
上荻野 岸氏関係	57
角田 後藤氏関係	58
川原口 古川・宮ヶ瀬 山本氏関係	60
八王子八木町 山口氏関係	62
漢籍	63

解 説	64
-----	----

